NPO法人安房文化遺産フォーラム

第27回知恵袋講座　2010.2.23

滝めぐりは私の探究心から

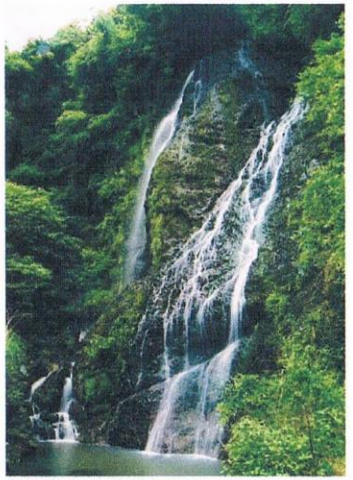
川崎　一

増間七滝めぐりコース案内06. 01. 03修正版

① 前蔵引の滝
村の滝NO.1落差9..2m

② 後蔵引の滝
村の滝NO.2
落差 7.0m

③ 薬研の滝
村の滝NO.4 落差4.5m



⑦ 坊 滝
村の滝NO.8 落差23.0m

④ 狩人の滝
村の滝NO. 5
落差1.5m

⑤ 乙女の滝
村の滝NO.6
落差 6.3m

⑥ 乙坊の滝
村の滝NO.7
落差 8.4m

村の滝NO.66
無名
滝もどき

村の滝NO.65
無名
滝もどき

村の滝NO.3
無名

P

P

P

右俣下降点

① 村の滝NO.1
前蔵引の滝
増間七滝

② 村の滝NO.2
後蔵引の滝
増間七滝

薬研の滝近道(行き132m 帰り96m)

巻道
行き

帰り
ロープ
と梯子

倒木帯

③ 村の滝NO.4
薬研の滝
増間七滝

狩人・乙女・乙坊の滝近道
狩人の滝まで80m
乙坊の滝まで70m

村の滝NO.68
無名
滝もどき

土留堰堤

村の滝NO.67
無名
滝もどき

④ 村の滝NO.5
狩人の滝
増間七滝

⑤ 村の滝NO.6
乙女の滝
増間七滝

⑥ 村の滝NO.7
乙坊の滝
増間七滝

⑦ 村の滝NO.8
坊 滝
増間七滝

急登

こちらの方が緩い登り

村の滝NO.9
冷水の滝

大日山に至る

※狩人及び乙女の滝
を見たら乙坊の滝
の降り口まで引き返
しそこに設置の
ロープとはしご
を使って降りる。
自信の無い人は林道に引き返し林道から坊滝へ

乙坊の滝巻道

七滝めぐりの心構え 体力などにより各人それぞれ異なりますので、自信の無い人はベテランにつれていってもらうか、滝の見えるところから引き返すか、自分の責任で行動してください。

問い合わせ先 川崎 一 〒294-0823 三芳村府中658-1 TEL0470-36-3026 E-mail murataki@dance.ocn.ne.jp この内容は個人で利用するほか、無断で転載利用を禁止します。

村　の　滝

千葉県安房郡三芳村に所在する滝(54滝)

平成１５年４月

川　崎　　一

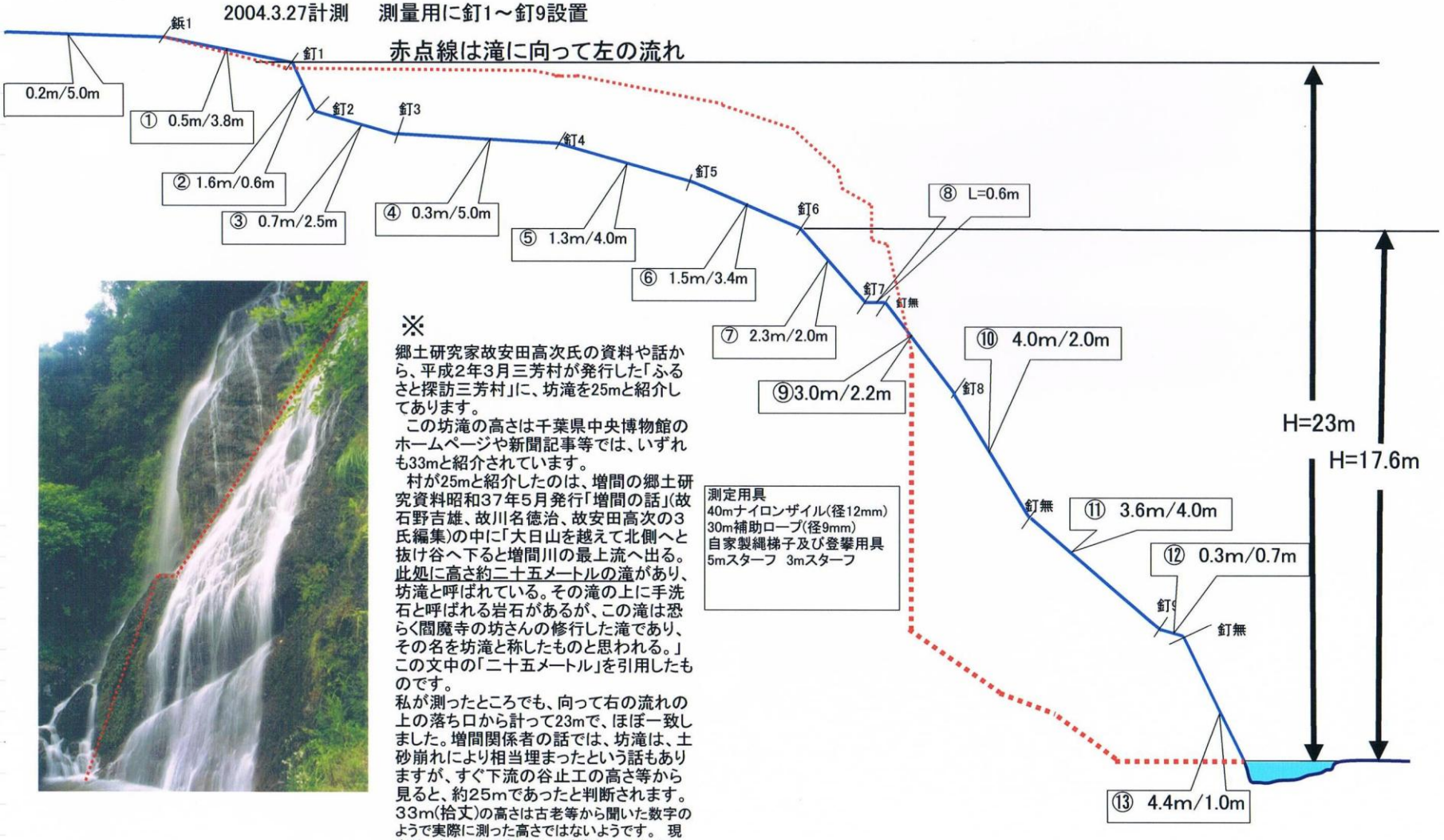
三芳村

ふるさと探訪

NO8 坊滝（ぼうだき）

落差23.0m　増間七滝 増間川.増間ダム上流右俣 F5

2004.3.27計測　測量用に釘1～釘9設置



※

郷土研究家故安田高次氏の資料や話から、平成2年3月三芳村が発行した「ふるさと探訪三芳村」に、坊滝を25mと紹介してあります。

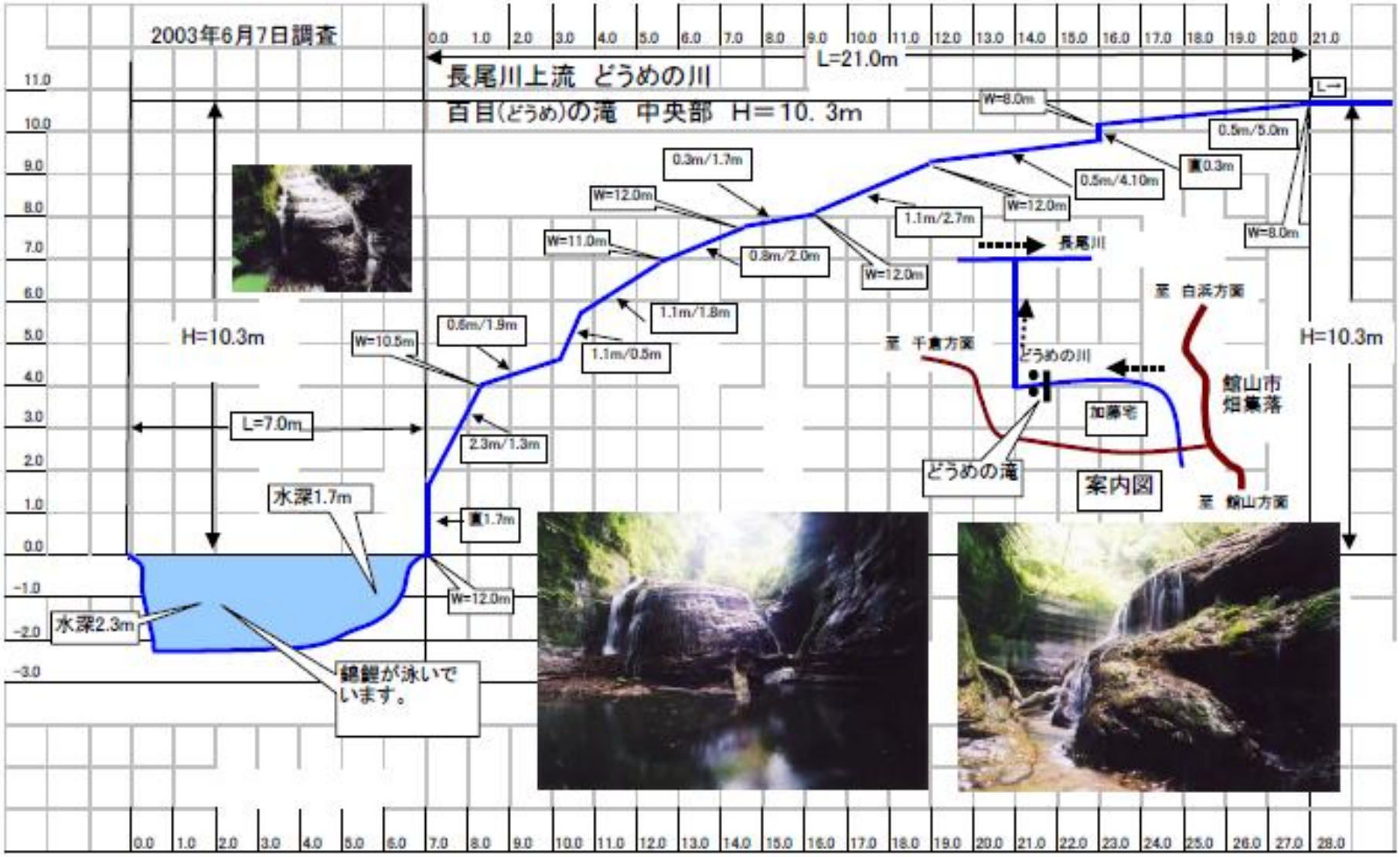
この坊滝の高さは千葉県中央博物館のホームページや新聞記事等では、いずれも33mと紹介されています。

村が25mと紹介したのは、増間の郷土研究資料昭和37年5月発行「増間の話」(故石野吉雄、故川名徳治、故安田高次の3氏編集)の中に「大日山を越えて北側へと抜け谷へ下ると増間川の最上流へ出る。此処に高さ約二十五メートルの滝があり、坊滝と呼ばれている。その滝の上に手洗石と呼ばれる岩石があるが、この滝は恐らく閻魔寺の坊さんの修行した滝であり、その名を坊滝と称したものと思われる。」この文中の「二十五メートル」を引用したものです。

私が測ったところでも、向って右の流れの上の落ち口から計って23mで、ほぼ一致しました。増間関係者の話では、坊滝は、土砂崩れにより相当埋まったという話もありますが、すぐ下流の谷止工の高さ等から見ると、約25mであったと判断されます。33m(拾丈)の高さは古老等から聞いた数字のようで実際に測った高さではないようです。 現在は、向って右の斜面の土砂崩れにより、何mかは埋まってしまいました。

測定用具
40mナイロンザイル(径12mm)
30m補助ロープ(径9mm)
自家製縄梯子及び登攀用具
5mスターフ　3mスターフ

どうめの滝


2003年6月7日調査
長尾川上流　どうめの川
百目(どうめ)の滝　中央部　H＝10．3m
L=21.0m
H=10.3m
L=7.0m
水深1.7m
水深2.3m
鯉が泳いでいます。
W=8.0m
0.5m/5.0m
0.5m/4.10m
1.1m/2.7m
0.3m/1.7m
0.8m/2.0m
1.1m/1.8m
0.6m/1.9m
1.1m/0.5m
2.3m/1.3m
W=12.0m
W=11.0m
W=10.5m
長尾川
どうめの川
至　白浜方面
至　千倉方面
館山市
畑集落
加藤宅
どうめの滝
案内図
至　館山方面